



☆ 優秀作品表彰：千歳橋の建設
—ブレースドリブアーチ橋—
大阪市建設局

千歳橋は、大阪市大正区の大正内港に架設され、2003年4月に開通した全長1,054mの橋梁である。

千歳橋の架設地点である大正内港は、一般の船舶の往来が頻繁にある水域である。そのため、海上主橋梁部の径間割や桁下高等の構造諸元が航路条件から制限され、架設においても長期間の水域占用が困難であった。また、近隣の長大橋梁群と景観的に調和の取れたシンボル性の高いものが求められていた。

このような条件から、海上主橋梁部の上部工形式は、2径間連続非対称ブレースドリブアーチを採用した。架設においては、地組立した架設ブロック海上輸送の上、フローティングクレーンによる海上大ブロック架設を行った。

本橋においては、さまざまな計画・設計に関する知見、解析技術等をもとに、世界でも珍しい2

径間連続非対称ブレースドリブアーチ橋を設計し、内港という制約条件の下、海上大ブロック架設を実施することが出来た。本橋の開通により、近隣道路交通の円滑化と港湾地域の活性化を促し、市バスの運行等による利便性の向上が期待できる。また災害時における周辺地区の避難路や救援活動に利用できる輸送路としての役割を担うものである。

鮮やかなブルーを基調に、優美なフォルムを有する千歳橋は、近隣の港大橋、なみはや大橋と併せて、シンボル性の高い橋梁として人々に長く親しまれることを期待したい。

☆ 優秀業績表彰：環境に配慮した道づくり
「都市計画路弥富相生山線」
名古屋市緑政土木局

都市計画道路弥富相生山線は、都市計画緑地相生山緑地を横断する幅員16mの補助幹線道路であります。相生山緑地周辺では、主要交差点の渋滞、生活道路への通過交通の侵入がかねてから大きな問題となっており、それらの問題解消のためにも本路線の整備が期待されている。

しかし、相生山緑地は、平成10年に北側の緑地が「オアシスの森」としてオープンし、市民の活動の場、憩いの場となっていることや、初夏にはヒメボタルが多数生息する場所として知られていることから、自然保護と道路の建設中止を望む声が出ている。

そこで、整備案を策定するにあたり、技術的な検討をしていく基礎段階から地元住民の意見や各分野の専門家の知見を導入する等、道路建設によって生じる影響及び対策を多方面から検討する一つのシステムを研究したものである。